

校長	教頭	担当者
単位数	4単位(年間:2単位) 70時間	
学科・学年・学級	普通科 第3学年2組、3組	

家庭科「家庭総合」年間指導計画

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	1. 人の一生を生涯発達の視点で総合的にとらえ、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解する。 2. 生活課題を解決するために必要な知識と技術を習得し、家庭生活の充実向上をはかる力と実践的な態度を身につける。
使用教科書・副教材等	使用教科書:第一学習社「家庭総合」 副教材:第一学習社「家庭総合学習ノート」、第一学習社「生活ハンドブック」資料&成分表

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

学期	学習内容	月	配当時間	学習のねらい・目標	備考
第1学期	第2編・第1章 食生活をつくる 1 人と食物のかかわり	4	6	・食生活の歴史や食文化から、食事の意義について理解する。 ・食事調査を通して、各自の食生活の問題点について考える。	
	2 栄養と食品のかかわり 3 食品の選び方と安全	5 6	16	・栄養素の種類と働きやそれぞれの栄養素が多く含まれる食品についての基礎的基本的な知識を習得する。 ・食品衛生(食品の選択、食中毒、食品添加物)について理解する。	調理実習1 (お菓子:マドレーヌ)
	4 食生活をデザインする	7	6	・栄養・食品の知識をもとに、食事摂取基準、食品群別摂取量等を理解し、バランスのとれた家族の食事計画(献立作成)を考える。 ・調理に関する基礎的基礎的な技術を習得する。 ・食事マナーを理解する。	野菜の切り方 調理実習2 (和食:魚の照り焼き・ほうれん草のお浸し・豆腐とわかめのすまし汁)
夏休み	ホームプロジェクト	8		・ホームプロジェクトの課題をみつけ、夏休みに調査・研究を行う。ホームプロジェクトの課題としてボランティア活動を選択することも可能である。	レポート
第2学期	5 これからの食生活を考える	9	8	・食品の自給率について理解する。 ・環境を配慮した調理方法(エコクッキング)について考える。 ・インスタント食品等に含まれている糖分・塩分について理解する。	調理実習3 (中華:麻婆豆腐・粟米湯)
	第1編・第3章 子どもとかわって生きる 1みんなで育てる	10	6	・保育を学ぶ意義について学習します。 ・子どもの世界と出会うことによって、自己理解を深める。	調理実習4 (洋食:グラタン・グリーンサラダ)

平成27年度久米島高等学校 家庭総合 3年普通科 年間計画

期	2生命の誕生 3心身の豊かな発達を 4子どもの生活を知る 5すべての子どもがすこやかに	11	8	<ul style="list-style-type: none"> ・青年期の健康管理の重要性を学習する。 ・子どもの誕生、子どもの心身の発達と特徴、子どもの生活や遊びについて理解する。 ・現在の子どもをとりまく環境を知り、子どもの発達と環境とのかかわりについて理解する。家庭保育と集団保育、子育てのための国や地域の社会的支援について学ぶ。 	妊婦疑似体験、沐浴、アタッチメントの形成、子どもの遊び・食生活についての理解を深めるため、絵本の読み聞かせやおやつを作る実習等を行う。
第2学期	第2編・第3章 住生活をつくる 1 人と住まいのかかわり 2 快適な住まいづくり	12	6	<ul style="list-style-type: none"> ・住まいの機能や歴史について知り、住まいが気候風土や生活と密接に関わっていることを理解する。 ・生活の機能に応じた住空間の構成を理解し、ライフステージやライフスタイルに応じた住生活の計画ができるようにする。 ・平面図について理解する。 	調理実習5 (自由献立:お弁当)
	3 健康的で安全な住まい環境			<ul style="list-style-type: none"> ・快適な室内環境について理解する。 ・家庭内事故や災害について学び、安全な住まい環境について理解する。 	
	4 よりよい住生活を創造するために			<ul style="list-style-type: none"> ・住環境について理解する。 ・住生活の現状や住宅政策を理解し、各自の課題を考える。 	町づくりについて、地域の取り組みについて調査する。
第3学期	第3編・第1章 消費行動を考える 1 主体的な消費行動	1 2	6	<ul style="list-style-type: none"> ・消費行動において、意思決定のプロセスについて理解する。 ・契約、多様な販売方法や支払方法、問題商法について理解する。 ・被害にあった場合の解決方法について理解する。 	
	2 消費者の権利と責任			<ul style="list-style-type: none"> ・消費者の権利と責任について理解し、消費において自主的に行動するための知識を深める。 	
	3 資源・環境を考える			<ul style="list-style-type: none"> ・資源及び環境に配慮した生活スタイルについて考える。 	

3 評価規準・評価方法

<p><関心・意欲・態度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人の一生と家族家庭、子どもや高齢者との関わりと福祉、消費生活、衣食住などについて関心をもち、その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。 <p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人の一生と家族家庭、子どもや高齢者との関わりと福祉、消費生活、衣食住などについて生活の充実向上を図るための課題を見いだし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。 <p><技能></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人の一生と家族家庭、子どもや高齢者との関わりと福祉、消費生活、衣食住などに関する課題を解決するため、必要な基礎的・基本的な技術を総合的に身に付けることができる。 <p><知識・理解></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人の一生と家族家庭、子どもや高齢者との関わりと福祉、消費生活、衣食住などに関する知識を総合的に身に付けている。 <p><評価></p> <p>これらの観点を踏まえ、各領域や毎授業ごとの具体的な評価方法としては、以下の項目より総合的に判断する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①授業中の学習の様子(発表等の学習活動や実習活動への取り組み状況など) ②ワークシート、物づくり(作品)、レポート等の提出物 ③定期考査
--